

Full Speed

月刊SEOレポート 2016年1月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.69

あけましておめでとうございます。

いつも月刊SEOレポートを閲覧していただき、ありがとうございます。
2016年も皆さまに有益な情報を発信し、WEBサイトの向上に役立てて
いただけますようスタッフ一同、一丸となって努めてまいります。

2015年を少し振り返りますと、自然検索結果がガラッと変わるような
特別なアルゴリズム導入や刷新は少なかった年でした。しかし、モバイル
フレンドリーの導入やナレッジグラフの強化、構造化データの拡大な
どによる検索結果の変化、さらに人工知能の導入などは、今後Googleが
力を込めるであろう道筋を示してくれていることは間違いありません。
これらのヒントは2016年も引き続き継承され、強化されるものと予測
します。

そして、より重要になるマーケティングは集客をした後のユーザー体験
の提供です。

セッションや新規ユーザーが増えたからと言って、成約が爆発的に伸び
るわけではありません。集客が増えたことに比例してCVが増すことはあ
ります。しかし、成約を伸ばすための積極的な施策によるものではなく、
集客が伸びたことによる二次的な効果です。

成約を伸ばすには伸ばすべき対策をしなければいけません。

IA（インフォメーションアーキテクト）

UX（ユーザーエクスペリエンス）

UI（ユーザーインターフェース）

WEBアクセシビリティ

などを積極的に改善することによってユーザーの体験が増し、目標が達
成でき目的が叶います。

2016年は集客の先を見据えた対策をし、サイトの成長に結び付けてい
ただければと思います。

SEOコンサルティング事業部

WEBコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック

Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
12/03	Google Play 「ベスト オブ 2015」を発表	2015年、日本で人気を集めたアプリやゲーム、音楽、書籍、映画およびテレビ番組などのデジタルコンテンツを紹介する企画「ベスト オブ 2015」を発表。	-
	http://googlejapan.blogspot.jp/2015/12/google-play-2015.html		
12/04	ペンギンアップデートの延期	2015年の10月に「早ければ数週間後、遅くとも年内には実施する予定」と見られていたアップデートが見送り。現時点では実施日が未定とGoogleの関係者が公表。	-
	-		
12/11	セーフブラウジングの保護対象範囲を拡大	安全ではないWebサイトを特定し、ユーザーやウェブマスターに知らせて危険から保護するためのセーフブラウジング機能の範囲を拡大。	P06
	http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/12/safe-browsing-protection-from-even-more.html		
12/15	2015年の検索トレンドを公開	人々の関心を引いた2015年のできごとや問題などの急上昇キーワードを公開。	-
	https://www.google.co.jp/trends/story/2015_JP		
12/18	httpsページを優先的にインデックスに登録	httpsでも接続ができ、複数の条件を満たしていればhttpsのURLを自動で選択してインデックスに登録するようインデックスシステムを調整。	P07
	http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/12/indexing-https-pages-by-default.html		

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
12/01	Yahoo! MOBILE INSIGHTを提供開始	アプリ広告の効果測定機能やアプリのアクセス解析機能を備えたアプリ提供者向けのマーケティングツールを公開。	-
	http://ymi.yahoo.co.jp/		
12/02	Yahoo!きっずの流行語大賞と検索ランキングを発表	Yahoo!きっずが選定した10キーワードの中から投票で決定された流行語大賞と、Yahoo!きっずで1年間にもっとも調べられたキーワードのランキングを公開。	-
	http://kids.yahoo.co.jp/event/mag/ranking2015/		
12/15	株式会社一休のTOB実施を発表	株式会社一休（東証一部）の子会社化を目指して、2月3日まで株式公開買付（TOB）を実施することを発表。想定買収価格は約1019億円。	P08
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/12/15b/		

「セーフブラウジングの保護対象範囲を拡大」

今月のトピックス01

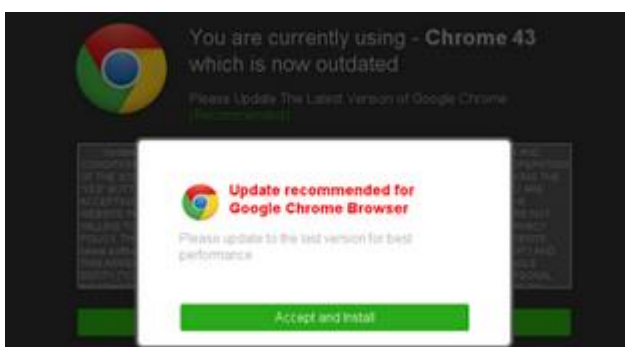
Googleには、安全ではないWebサイトを特定し、ユーザーやウェブマスターに知らせて危険から保護するためのセーフブラウジング機能があります。

今回の更新は、従来の機能にソーシャルエンジニアリングも対象にするよう保護の範囲が拡大されました。

ソーシャルエンジニアリングは従来のフィッシングと比べてより広範囲なカテゴリであり、さまざまな不正なWebコンテンツを含んでいます。ソーシャルエンジニアリング攻撃とは、次のようなコンテンツを指します。

パターン01

右は、マルウェアや不要なソフトウェアをダウンロードして実行させようとするページです。Google が運営するサイトだと思わせるために Chrome のロゴと名前を使っています。



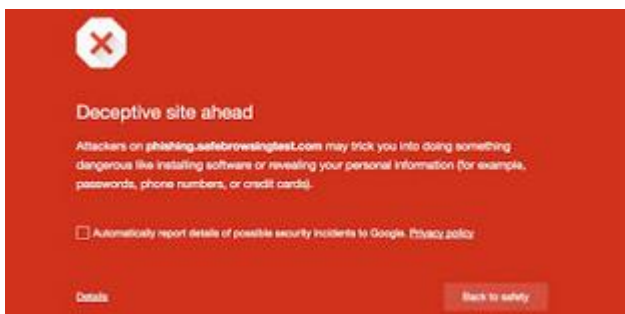
パターン02

右は、テクニカルサポートの電話番号をかたったページです。偽の警告メッセージを表示して、Googleまたはその他の信頼できる組織になりました無関係の企業に電話をかけさせようとしています。



警告メッセージ

ソーシャル エンジニアリングのコンテンツが含まれるWebページであることが特定されると、Chromeでは右のようなページを表示してユーザーに警告します。



参照元：「ウェブマスター向け公式情報」

<http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/12/safe-browsing-protection-from-even-more.html>

「 httpsページを優先的にインデックスに登録 」

今月のトピックス02

Googleはユーザーのセキュリティを最優先に考え、2014年には検索結果のhttps URLの掲載順位を若干引き上げる取り組みに着手しました。この流れの一環として、httpsでも接続ができ、複数の条件を満たしていればhttpsのURLを自動に選択してインデックスに登録するようインデックスシステムを調整しました。

これまでの経緯

2011年11月22日：デフォルトでhttps 暗号化を導入

2014年08月07日：https をランキングシグナルに使用

そして今回……

2015年12月18日：https のURLを優先的にインデックス



登録条件

同じドメインの2つのURLが同じコンテンツを掲載、かつ、両者が異なるプロトコルスキームで配信されている場合、通常、以下の条件を満たしていればhttps URLを選択してインデックスに登録します。

セキュアでない依存関係が含まれていない。

robots.txt によってクロールがブロックされていない。

セキュアでないhttpページに、または経由してリダイレクトしていない。

httpページへのrel="canonical" リンクが含まれていない。

noindex robots メタタグが含まれていない。

同一ホスト上のhttpページへのリンクが含まれていない。

サイトマップにhttps URLが掲載、またはhttpURLが掲載されていない。

サーバーに有効なTLS証明書がある。

参照元：「ウェブマスター向け公式情報」

<http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/12/indexing-https-pages-by-default.html>

「株式会社一休のTOB実施を発表」

今月のトピックス03

Yahoo!と一休の発表によると、Yahoo!が株式会社一休（東証一部）を完全子会社化するため株式公開買付（TOB）を実施。2015年12月16日から2016年2月3日にかけて、本件基準株式数に3分の2を乗じた19,492,200株を買付予定数の下限に設定して取得する予定だとしています。買取にかかる金額は約1019億円と見られています。



<http://www.ikyuu.com/>

一休を買収する背景

Yahoo!が更なる成長に向けて目指す3年後の姿は「アプリ利用の推進とeコマース国内流通総額の拡大（プレゼンテーション資料より）」です。

特に最近力を入れているのは、アスクルを連結子会社化して連携を強化したり、スマートログインやスマート決済を提供してスマートフォンで買い物がしやすい環境を整備するなどのEC事業の強化です。

こうしたなか、一休を子会社化する最大の理由は飲食予約に関するEC市場の伸びにあります。Yahoo!も「Yahoo!予約 飲食店」サービスを展開していますが、一休は国内における飲食店予約サービスの先駆けであり、しかも高級店に注力して積極的に店舗開拓を進めてきました。そうした一休が持つノウハウや店舗は、飲食店予約サービスを拡大する上でシナジーを見いだせる戦略的パートナーになるとの結論に至ったと考えられます。

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



アフィリエイト

NEW

アフィリエイト「ミニサイト作成」講習会&ワークショップ

2016年1月23日（土） 13：00 ～ 17：00

アットビジネスセンター渋谷 貸会議室

<http://www.japan-affiliate.org/news/minisite1601/>

コンテンツ

NEW

第3回FOUND Conference in Tokyo

2016年1月27日（水） 14：10 ～ 18：00

両国KFCホール

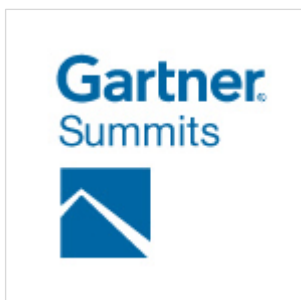
<http://www.ginzametrics.jp/blog/seminar-0127>

EC

イーコマースEXPO 2016 東京 第9回

2016年2月16日（火）～ 17日（水） 10：00 ～ 17：30

東京ビッグサイト 西4ホール

<http://www.ecommerceexpo-japan.com/>

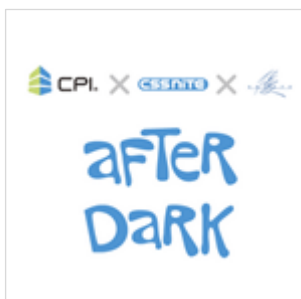
CX

NEW

ガートナー カスタマー 360 サミット 2016

2016年2月24日（水） 9：15 ～ 20：05

東京コンファレンスセンター・品川

<http://gartner-em.jp/c3602016/>

マーケティング

NEW

After Dark「マーケティングリサーチを活用してWeb戦略を磨く」

2016年3月17日（木） 19：30 ～ 21：00

KDDIウェブコミュニケーションズ セミナールーム

<http://cssnite.jp/afterdark/cpi/vol32/>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況

Section 02

順位変動状況サマリー

2015年12月の順位変動に関するサマリーコメント

12月18日に小規模の変動を観測しました。変動の幅が小さく約2日後に元の順位に戻っているサイトが多かったことから、なにかしらの調整あるいはテストが影響されているものと推測しています。アメリカの代表的な順位変動ツール「mozcast (<http://mozcast.com/>)」では、18日の変動数値は平常時の「50°」だったことから、日本独自の変動の可能性が高いと思われます。

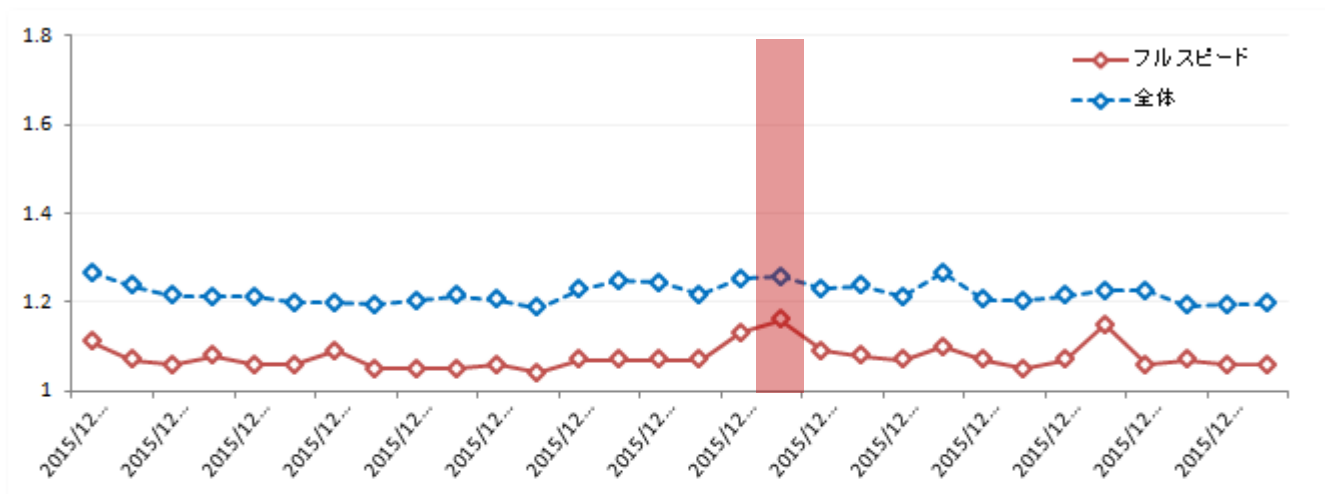
18日の前日差は以下の結果でした。

前日から上昇している割合 : 18.10%

前日と変わらない割合 : 64.22%

前日から下落している割合 : 17.68%

Googleの順位変動率の推移 (2015/12/1~2015/12/31)



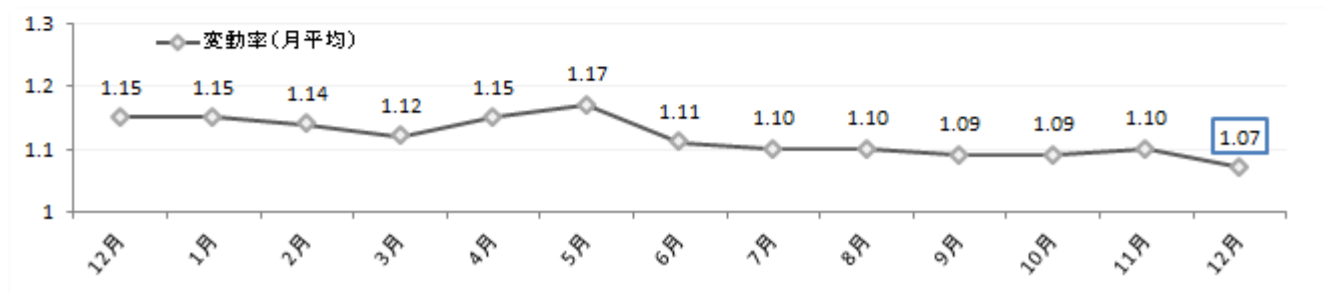
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ:

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

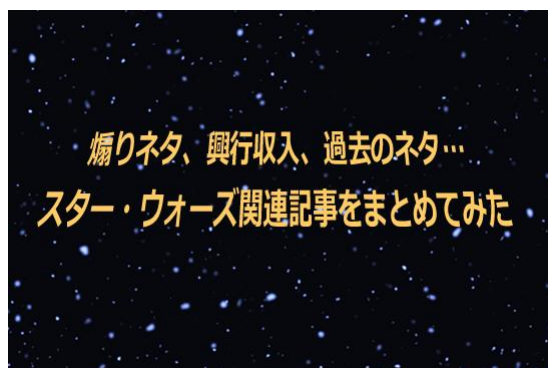
Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



12月のアップ紹介



「煽りネタ、興行収入、過去のネタ…スター・ウォーズ関連記事をまとめてみた」

12月18日に「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」が公開されましたが、さまざまな媒体が、ここぞとばかりに便乗し、スター・ウォーズ関連記事を公開しています。今どんな記事が公開されていて、媒体ごとにどんなアプローチがされているのかをまとめた記事です。

<http://growthseed.jp/experts/writing/starwars/>

1月のアップ予告






NO IMAGE

「2016年のSEO展望まとめ」

2015年にGoogleが力を込めた「モバイル」「アプリ」「セキュリティー」などの取り組みを振り返りながら、2016年にGoogleが力を込めるであろう方向性、そしてWEB担当者が取り組むべきWEBサイトの改善策を解説する記事を予定しています。

特集 _ 米国のcomScore が米国検索エンジンシェア発表！

米国のcomScoreが、米国内の2015年11月検索エンジンシェア（デスクトップ）を発表しました。

	2014年11月の結果	2015年11月の結果
Google	67.0%	 63.9%
Bing	19.6%	 20.9%
Yahoo	10.2%	 12.9%
Ask Network	2.0%	 1.7%
AOL, Inc.	1.3%	 1.0%

Googleが若干シェアを落としているものの、60%のシェアを超えており圧倒的有利な立場は変わりありません。

Bingは1.3%ほどの伸び、2009年以降は右肩上がりが続き2015年3月からは20%台をキープしており顕著な推移です。

Yahooは数値を伸ばしているものの、一時期は30%近いシェアがあったものが1/3ほどに低下しており、2010年8月に検索エンジンをBingへ移行したことをきっかけに低迷傾向にあります。今後も同水準が続くものと思われます。

※調査機関により数値が異なりますが順序はほぼ変わりありません

特集 _ Google 2015年の検索ランキング

Googleが2015年12月16日に2015年の検索ランキングを発表しました。

急上昇ランキング	
1位	イスラム国
2位	台風
3位	ラグビー
4位	マイナンバー
5位	後藤健二
6位	川島なお美
7位	北斗晶
8位	スプラトゥーン
9位	windows10
10位	iphone6s

話題のニュース	
1位	イスラム国
2位	台風
3位	ラグビー
4位	マイナンバー
5位	windows10
6位	iphone6s
7位	ドローン
8位	安保法案
9位	ギリシャ
10位	川崎犯人

急上昇ランキング【とは】	
1位	国勢調査 とは
2位	ドローン とは
3位	マイナンバー とは
4位	安保法案 とは
5位	イスラム国 とは
6位	755 とは
7位	rs ウイルス とは
8位	インスタグラム とは
9位	リベンジポルノ とは
10位	野球賭博 とは

人気の購入場所ランキング	
1位	松屋
2位	御殿場アウトレット
3位	丸井
4位	木更津アウトレット
5位	マツモトキヨシ
6位	高島屋
7位	大丸
8位	伊勢丹
9位	LAOX
10位	マリノアシティ福岡

特集 _ Yahoo! JAPAN 2015年の検索ランキング

Yahoo! JAPAN が2016年1月5日に2015年の検索ランキングを発表しました。

総合ランキング

1位	YouTube
2位	Amazon
3位	楽天
4位	Facebook
5位	Google
6位	Googleマップ
7位	DMM
8位	FC2
9位	Twitter
10位	郵便番号

人名ランキング（男性）

1位	嵐
2位	三代目 J Soul Brothers
3位	羽生結弦
4位	関ジャニ∞
5位	福山雅治
6位	EXILE
7位	HIKAKIN
8位	Mr.Children
9位	Hey! Say! JUMP
10位	錦織圭

人名ランキング（女性）




1位	AKB48
2位	乃木坂46
3位	広瀬すず
4位	北斗晶
5位	石原さとみ
6位	有村架純
7位	川島なお美
8位	柏木由紀
9位	E-girls
10位	大島優子

スポーツ選手ランキング

1位	羽生結弦
2位	錦織圭
3位	浅田真央
4位	武豊
5位	五郎丸歩
6位	内田篤人
7位	イチロー
8位	香川真司
9位	本田圭佑
10位	ダルビッシュ有

特集 _ 2016年検索エンジンの展望

2015年の検索エンジンに関連する代表的なトピックスは以下の3点になるのではないのでしょうか。キーワードにすると「モバイル」「アプリ」「セキュリティ」です。

	4月21日	スマートフォンで自然検索順位を決定する際の指標としてモバイルフレンドリーを導入
	5月27日	アプリ内のコンテンツを見つけやすくする仕組みApp IndexingをAndroidだけではなくiOSユーザーにも利用可能に
	8月18日	より強力なセキュリティ基準を採用したサービスを提供するため、検索結果にSSLを導入

2016年の検索エンジンの展望を考えると、方向性は大きく変わらずに、これらを推進する動きが強化されるものと予想します。

詳しくは当社のブログ「Growth Seed」で公開しますが、2016年に重要になるであろうキーワードを先にご紹介します。コンテンツも引き続き重要になりますが、ユーザー行動を明確にし目的と手段によってコンテンツの使い分けをする戦術がカギになると思われます。

- 1 モバイルユーザーのニーズにそった**モバイルフレンドリー**の強化
- 2 **AMP** (Accelerated Mobile Pages) によるモバイルでのWEBページ表示の高速化
- 3 サイトの価値を高める**高品質コンテンツ**
- 4 興味関心や接客を目的とした**インタラクティブコンテンツ**
- 5 **自然リンク**の獲得
- 6 ユーザー体験を向上させるための**戦略的WEBサイトの運用**

月刊SEOレポート 2016年1月版

- Monthly SEO Report vol.69 -

発行 2016年1月6日

発行者 SEOコンサルティング事業部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2015年12月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”